

JT-G9952

宅内電話線ネットワーク用送受信機

— ペイロードフォーマット及び リンクレイヤー要求条件

Phoneline networking transceivers
– Payload format and link layer requirements

第 1 版

2006 年 3 月 16 日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社) 情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を (社) 情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

<参考>	3
1. 標準の概要.....	4
2. 本標準で規定する内容.....	4

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）において標準化された ITU-T 勧告 G.9952（03/2003）に準拠している。なお、G.9952 は G.989.2 として標準化されたものを、2005 年 5 月 27 日に修正を施さずそのまま再度採番したものである。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

なし

3. 改版の履歴

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第 1 版	2006 年 3 月 16 日	制定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで御覧になれます。

5. その他

（1）参照する主な勧告、標準

ITU-T 勧告：

- ITU-T G.989.1 (2001), Phonetone networking transceivers – Foundation.
- ISO/IEC 8802 3:2000, Information technology – Telecommunications and information exchange between systems – Local and metropolitan area networks – Specific requirements – Part 3: Carrier sense multiple access with collision detection (CSMA/CD) access method and physical layer specifications.
- ISO/IEC 15802-3:1998, Information technology – Telecommunications and information exchange between systems – Local and metropolitan area networks – Common specifications – Part 3: Media Access Control (MAC) Bridges.
- IEEE 802.1Q-1998, IEEE standard for local and metropolitan area networks: Virtual Bridged Local Area Networks.

（2）本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である ITU-T 勧告によっている。

具体的な規定内容は ITU-T 勧告を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

DSL 専門委員会

1. 標準の概要

この標準は宅内電話線ネットワーク用送受信機のペイロードフォーマット及びリンクレイヤー要求手順について定義する。ここでは ITU-T G.9951 で定義された媒体へのアクセスコントロールとカプセル化手順の利用を前提とする。

この標準はデバイス間の相互接続性の確立を目的とする。ここでは送信側装置の適合性の観点から記述しており、受信側装置の性能要求条件は最低限必要なものとした。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の ITU-T 勧告による。

[1]ITU-T 勧告 G.9952 (3/03) : Phoneline networking transceivers – Payload format and link layer requirements